

2016年 一般来聴歓迎 (どなたでも聴講できます)

12月2日(金)

13:15~14:15 (開場13:00)

聴講  
無料

会場 龍谷大学 深草学舎 和顔館アクティビティホール

鎌倉時代に活躍した明恵上人は、華嚴や真言の教えを追求し、ひたむきに仏道実践に取り組むと同時に日々の「夢」を丹念に記録しつづけたことでも有名です。明恵は何を夢に見、そしてなぜ夢を記したのか。今回は「夢記」をひもときながら明恵のユニークな宗教世界の一端をご紹介します。

◆ 本レクチャーは、2017年1月22日(日)開催予定の龍谷大学世界仏教文化研究センター主催・明治大学野生の科学研究所、龍谷大学仏教文化研究所(大正新脩大蔵経の学術用語に関する研究)、龍谷学会共催 学術講演会「華嚴の世界—『華嚴経』と南方マンドラー」(中沢新一氏)の関連レクチャーです。



講師紹介

野呂 靖 (NORO, Sei)  
龍谷大学文学部専任講師

略歴： 博士(文学)。1979年大阪府生まれ。花園大学非常勤講師、浄土真宗 本願寺派総合研究所研究員などを経て現職。近年の業績としては『明恵上人夢記訳注(共著、勉誠出版)』、「中世華嚴教学における浄土主義 解釈」(『印度学仏教学研究』56巻1号)、「中世真言宗における諸宗教学の受容について—富山大学附属図書館ヘルン文庫蔵『王心鈔』翻刻」(『仏教学研究』71号)等。



京阪深草駅から徒歩3分、地下鉄ういな橋駅から徒歩7分

明恵の華嚴思想と「夢記」